京都府高等学校体育連盟主催事業における
新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専 門 部 名 ： ホッケー 専門部

策 定 日 ： 令和 4 年 4 月 18 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- 申込締切日までに、大会参加加盟校のうち２校（男女別）が、参加を辞退した場合、大会は中止する。
  コロナの状況に合わせ、大会ごとに専門部で協議・確認の上、別途対応する。

2、大会参加条件について

- 選手・役員等をはじめ大会関係者全員に２週間前からの健康観察を義務づけ実施する。万が一感染が発生した場合は、別途対応する。尚、健康観察は個人チェックシートにて行い、大会実施日に提出する。
- 大会当日、発熱、喉の痛み、咳、全身の倦怠感など風邪と考えられる症状がないこと。

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- 大会会場において、発熱者が出た場合、速やかに関係者（医療機関）に連絡し、帰宅（受診）を促す。
- 発熱者が、新型コロナウイルスに感染している可能性がある場合は、所属するチームは大会に参加できない。
- 「新型コロナウイルスに感染している可能性」については、チーム責任者と各校の感染予防対策代表者が聞き取りを行い、専門部にその事実を速やかに報告し、医療機関及び実行委員会の指示に従うこと。

4、大会出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- 申込前に感染が発生した場合は、別途対応をする。
  申込後に辞退が決定した場合は、参加料は返金しない。

5、学校（チーム）応援者・観客について

- エントリーメンバー外でも、部に所属する生徒は来場可とする。
  （コロナ禍の状況に合わせて対応を変えることもある。緊急事態宣言中は、無観客試合とする。）
  （試合会場に応じて、別途対応をする）
- 各チームの応援・観客人数については、大会、競技施設の要請等により、入場上限を設けることがある。
- 入場する際は、受付で健康観察を行い、チェック項目に該当しなければ来場を許可する。
- 基本的な感染対策を徹底し、発声を伴う応援は一切禁止する。会場内において、参加者と接触することを控える。

6、専門部独自の感染症対策について

○ 会場において

- 試合会場内の必要箇所（会場出入口、ベンチ、トイレ等）にアルコール消毒液を設置し、常時手指消毒ができる体制を整える。
- 更衣室の利用については更衣のみ可とするが、ミーティングなどの使用は控える。
  （当該チームが使用前後に消毒を行う）
- 試合開始直前まで（アップ、ダウン時は不要）マスクを着用する。（ベンチ内も着用）
- 選手・関係役員以外は、人工芝フィールド・大会本部への入場を禁止する。

○ 競技において

- 試合前後の挨拶、ベンチ前での円陣を組んでの声出しはできるだけ控える。
- 試合前後の握手はせず、黙礼のみ。競技中のハイタッチや握手、大声での気合がけの行為はできるだけ控える。
- 試合間隔を確保し、使用ベンチの消毒などを行う時間をとる。（当該チームが使用後に消毒を行う）
- 試合前のセレモニーを簡素化する。
- ボールパトロールなどの補助員には、ビニール手袋を着用する。
- 給水については、必ずマイボトルを持参することとし、共有は認めない。

○ 大会役員、その他において

- 大会役員は、常にマスクを着用する。
- チーム責任者は、参加者に会場地までの往復途上における感染防止対策についても指導すること。
- 大会後、１週間以内に体調不良を訴える選手・スタッフ等が判明した場合、速やかに専門委員長に連絡をすること。